

# 北海道浮魚ニュース

平成 14(2002)年度 2 号 (通巻 No.122)

2002 年 5 月 9 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 道西日本海スルメイカ資源動向

日本海区水産研究所から日本海南西部海域におけるスルメイカ稚仔の分布状況が発表されましたので、これを含めて道西日本海スルメイカ資源動向をお知らせします。

### 1) 漁獲量と漁船の CPUE・延隻数 (図 1, 2)

2001 年(昨年)の道西日本海のスルメイカ漁獲量は前年並みの 28,553 トン(概数値)で、近年(1989 年以降)の高い水準を維持していました。

また、2001 年の小型いか釣り漁船の CPUE (1 隻 1 日当たりの漁獲尾数または重量)は、松前港と稚内港が前年を上回り、余市港が前年並み、留萌支庁管内が前年を下回りました(図 2)。延隻数は、松前港が減少し、余市港と稚内港が増加しました。

### 2) スルメイカ稚仔の分布密度 (図 3)

毎年、秋季に日本海南西部海域で行われているスルメイカ稚仔調査の結果、2002 年(今年)の漁獲対象となる 2001 年秋季の稚仔分布密度は、近年の高い水準を維持していました(図 3: 日本海区水産研究所資料)。

以上から、道西日本海のスルメイカ資源状況は、近年(1989 年以降)の比較的高い水準を維持していると考えられます。

(文責: 中央水産試験場資源管理部、TEL:0135-23-8707、FAX:0135-23-8709)

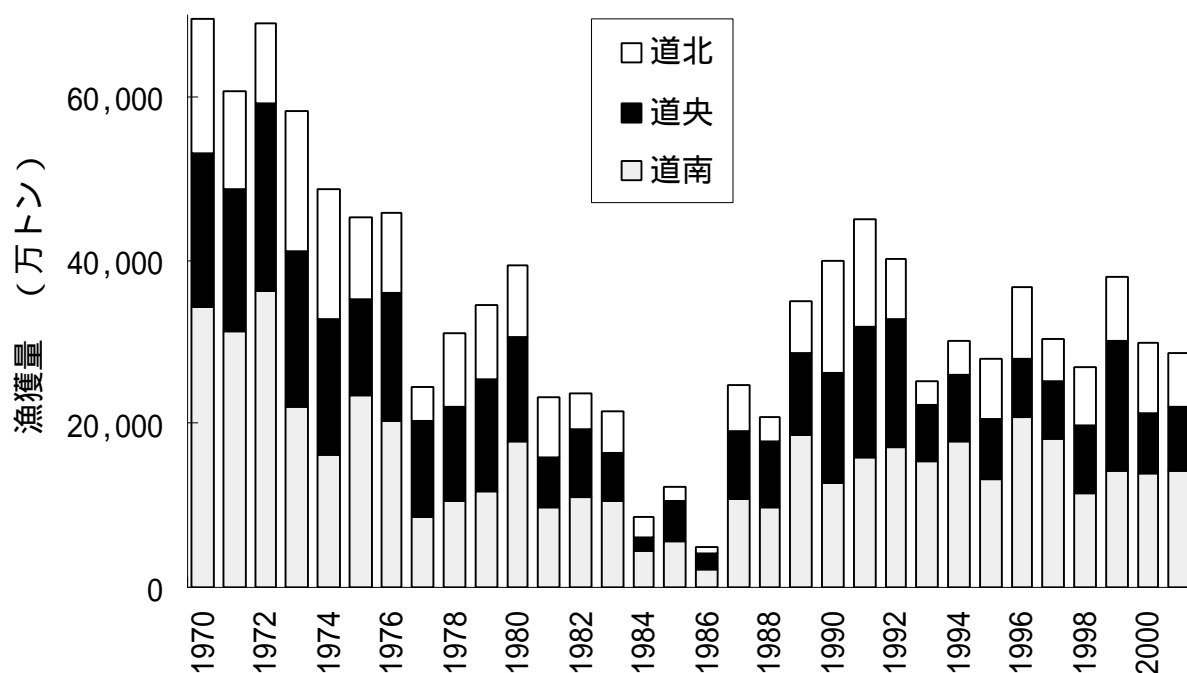


図 1 道西日本海におけるスルメイカ漁獲量の経年変化

注) 道南: 渡島(松前・福島町のみ)・檜山支庁、道央: 後志・石狩支庁、道北: 留萌・宗谷支庁

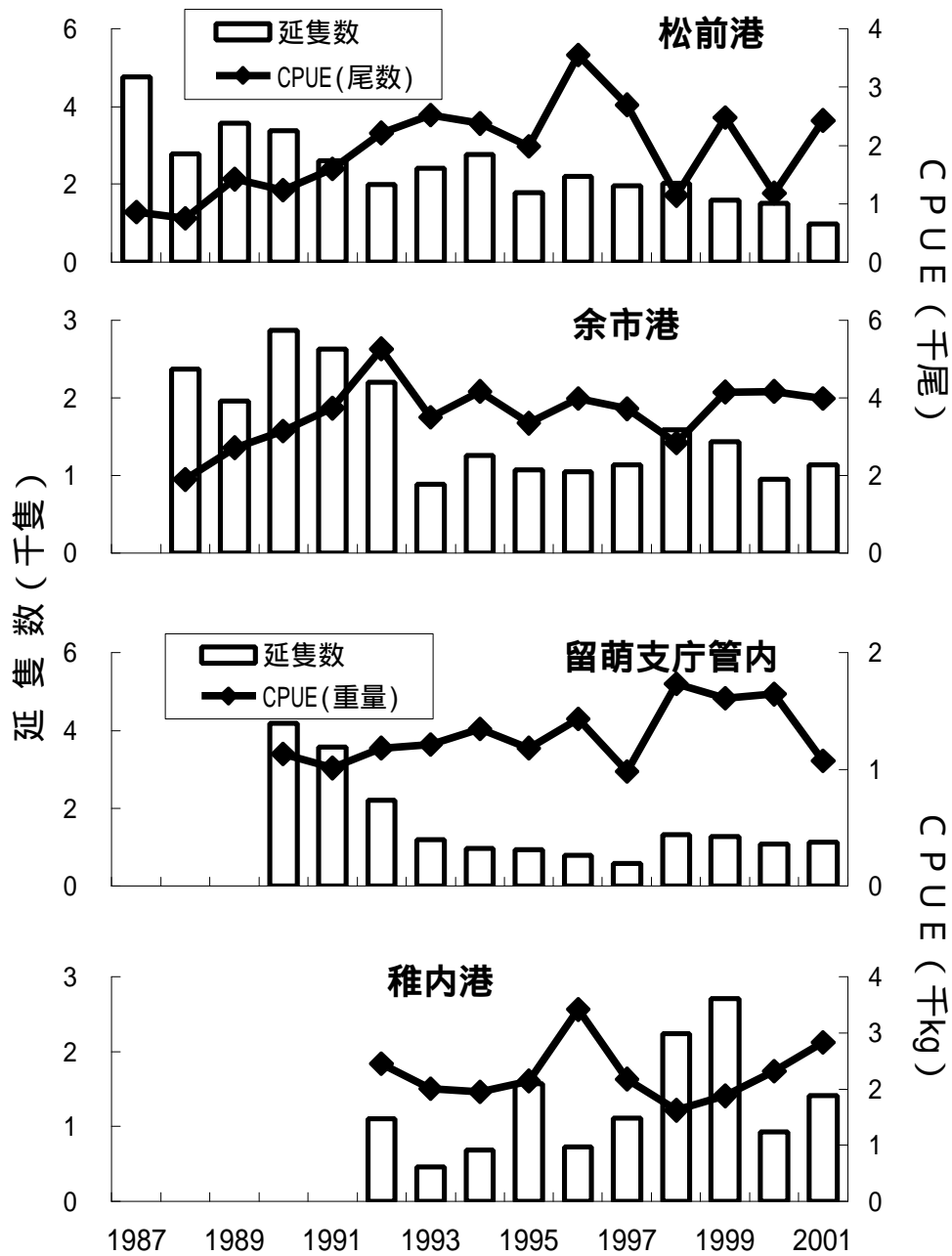


図2 道西日本海における小型いか釣船の水揚げ隻数とCPUE  
 注) CPUE: 1隻1日当たりの漁獲尾数または重量(kg)

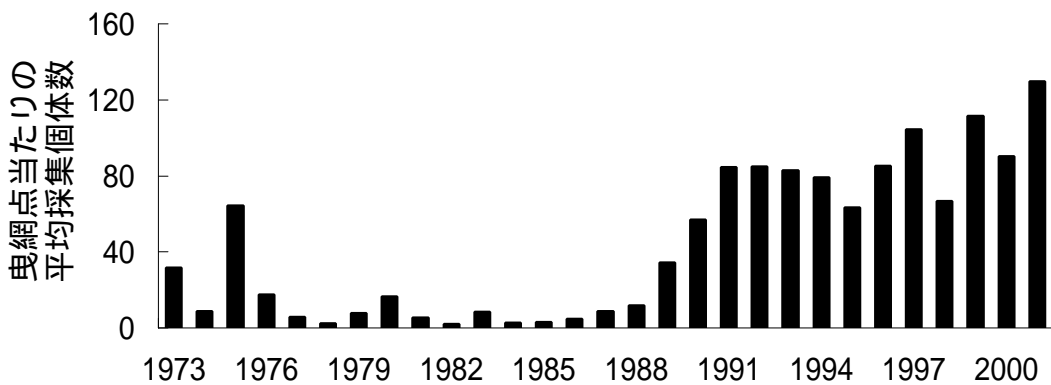


図3 日本海南西部における秋季のスルメイカ稚仔分布密度の経年変化(80Rネット)  
 (日本海区水産研究所 資料)